

第210回 大阪小児科学会

◇◇ プログラム ◇◇

■ Aセッション(14 : 00~14 : 36)

座長 高橋 邦彦 (大阪府立母子保健総合医療センター 小児循環器科)

1. 乳児特発性僧帽弁腱索断裂の1例

大阪市立総合医療センター小児医療センター 小児循環器内科¹⁾,

同 小児不整脈科²⁾, 同 小児心臓血管外科³⁾, 八尾市立病院 小児科⁴⁾

數田高生¹⁾, 押谷知明¹⁾, 中村香絵¹⁾, 川崎有希¹⁾, 江原英治¹⁾, 村上洋介¹⁾,

加藤有子²⁾, 吉田葉子²⁾, 鈴木嗣敏²⁾, 西垣恭一³⁾, 近藤由佳⁴⁾, 道之前八重⁴⁾

2. SLEの経過中に心臓内に腫瘤状エコーを認めた一例

近畿大学 小児科学教室

西 孝輔, 今岡のり, 丸谷 怜, 篠原 徹, 竹村 司

3. インフリキシマブ投与が著効した難治性川崎病の4か月女児の一例

大阪医科大学泌尿生殖・発達医学講座 小児科学教室¹⁾, 阿武山こどもクリニック²⁾

植田光哉¹⁾, 中村恵理子¹⁾, 松村英樹¹⁾, 尾崎智康¹⁾, 芦田 明¹⁾, 小西和孝²⁾,

岡本良三²⁾, 玉井 浩¹⁾

■ 総 会(14 : 36~15 : 12)

議長 泉谷 徳男 (泉谷こどもクリニック)

・第208回 大阪小児科学会 Dセッションで提起された問題についての座長報告

教育講演(15 : 12~16 : 12)

座長 片山 博視 (大阪医科大学 小児科)

「小児科に必要な胎児循環生理」

稲村 昇 (大阪府立母子保健総合医療センター 小児循環器科)

■ Bセッション(16 : 12~17 : 00)

座長 藤丸 季可 (大阪市立総合医療センター 小児総合診療科)

4. 気管挿管後に著明な循環不全に陥った鑄型気管支炎の1例

社会医療法人 愛仁会 高槻病院 小児科¹⁾, 同 小児集中治療科²⁾, 同 小児外科³⁾

森 雅啓¹⁾, 松田卓也¹⁾, 大西 聡¹⁾²⁾, 橋村裕也¹⁾, 津川二郎³⁾, 土居ゆみ²⁾,

起塚 庸¹⁾²⁾, 内山敬達¹⁾, 南 宏尚¹⁾

5. 細菌性髄膜炎で発症した腰仙部類皮腫を伴った先天性皮膚洞の1例
社会医療法人 愛仁会 高槻病院 小児科¹⁾, 同 小児脳神経外科²⁾,
同 小児神経センター³⁾, 同 病理診断科⁴⁾, 同 小児集中治療科⁵⁾
藤崎拓也¹⁾, 阪本大輔²⁾, 原田敦子²⁾, 宇都宮英綱³⁾, 伊倉義弘⁴⁾, 大西 聡¹⁾⁵⁾,
橋村裕也¹⁾, 起塚 庸¹⁾⁵⁾, 林 振作¹⁾, 内山敬達¹⁾, 南 宏尚¹⁾, 山崎麻美²⁾
6. 口に咥えたものによる小児の口腔咽頭外傷のまとめ
社会医療法人 愛仁会 高槻病院 小児科¹⁾, 同 小児集中治療科²⁾
上村義季¹⁾, 大西 聡¹⁾²⁾, 橋村裕也¹⁾, 起塚 庸¹⁾²⁾, 林 振作¹⁾, 内山敬達¹⁾,
南 宏尚¹⁾
7. 体重3kgの新生児糖尿病乳児に対するSAP (sensor augmented pump) の導入経験
大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学
野々村光穂, 堀田優子, 橋村夏野子, 広瀬正和, 川村智行, 新宅治夫

- A～Bセッションは講演各6分, 討論各6分とし, 教育講演50分, 討論10分とします。

第5回「低線量被ばくを考えるセミナー」

日 時：6月18日(土)

大阪小児科学会 (大阪市大医学部学舎 4階 中講義室1) 終了後開催。
同じ会場で引き続き開催いたします。講演と質疑で約2時間を予定。

「原発周辺の小児白血病とがん—ドイツKiKK研究より」

講 師：入 江 紀 夫 先生 (入江診療所)

ドイツでは原発周囲の小児がんが増えるかどうかについて, 1980年から国家レベルで調査が実施されてきました。原発周囲小児がん研究, ドイツ語でKiKK研究と呼ばれています。2008年に, 1980年から2003年までの研究結果をまとめ, 原発の周囲半径5km以内では5歳以下の白血病がオッズ比で2.19倍多くなるという結果を発表しました。その他のがんも含めると, 1.61倍でした。

入江先生は2014年には実際にドイツを訪問され, ドイツのKiKK研究実施者, さらに世界の研究者とも交流を深められています。さらに, わが国の原発立地の状況に当てはめた場合のシミュレーション研究も実施されています。また, 低線量・内部被ばくの危険性に関する最新の世界の医学文献を検討された著書も書いておられます。多くの人々にご参加をいただきながら, 小児医療を担うものとして問題を深め, 考えていきたいと思っています。ご参加いただけることを心より願っています。

主催：大阪小児科学会地域医療委員会